

在セネガル日本国大使館月報

2026年8月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 11日、国家汚職対策局(OFNAC)は、資産申告義務の対象一覧を掲載した。大統領府、国民議会、憲法評議会、最高裁判所、首相府、ならびに政府全体が監視の対象となる。
- 25日、憲法評議会は、特別資金の法的枠組を定めるために国民議会が提出した法案について、不受理とする決定を下した。

(外政)

- 20日、セネガル外務省は、セネガル国籍のセイ副検事を含む国際刑事裁判所幹部に米国が課した新たな制裁に深い懸念を表明。
- 31日、ニャン外相はナイジェリアにてジョップ元国防大臣のECOWAS委員会委員長就任式を実施。

(経済)

- 14日、政府はガソリン1リットルあたり70フラン(920フラン→990フラン)、軽油1リットルあたり75フラン(680フラン→755フラン)の値上げを発表。

カーボベルデ

- 29日、MpDはローザ元法務大臣の大統領選への立候補を支持することを決定。
- 29日及び30日、ネーヴェシュ大統領及びリマ・アマンテ・ダ・ローザ外務・共同体・国防大臣はアンゴラで開催のアフリカ連合執行理事会第26回臨時会合及びアフリカ連合総会第21回臨時会合に出席。

ガンビア

- 14日、12月5日の大統領選挙に向けて、最大野党UDP主導で7政党・政治団体が「ガンビア・ファースト連合(GFC)」を結成。ダルボーUDP党首が代表候補。
- 21日、12月5日の大統領選挙に向けて、UNITE党主導により8政党・政治団体が「連合2026」を結成。ベンソウダUNITE党党首が代表候補。
- 29日及び30日、ニエ外務・国際協力・在外ガンビア人大臣はアンゴラで開催のアフリカ連合執行理事会第26回臨時会合及びアフリカ連合総会第21回臨時会合に出席。

ギニアビサウ

- 30日、憲法改正に関する国民投票が行われた。

セネガル

(出典は Le Soleil 紙、RFI、大統領府 HP、セネガル外務省 HP、APS、Jeune Afrique ほか。)

(内政)

内政一般

- 5日、3人のインフルエンサーが大統領を侮辱する内容の動画を流したことにより、執行猶予なしで禁

錮3か月等と罰金50万FCFAの刑が言い渡された。

- 10日から臨時国会が召集。
- 11日、国家汚職対策局(OFNAC)は、資産申告義務の対象一覧を掲載。大統領府、国民議会、憲法評議会、最高裁判所、首相府、ならびに政府全体が監視の対象。
- 12日の委員会にて、憲法第37条の改正案についてサル法務大臣が国民議会議長および首相に対しても資産申告および公表の義務を拡大することを目的とした修正案を提出。
- 17日、憲法第37条の改正案が国民議会にて可決。
- 18日、労働法法案が国民議会にて可決。
- 25日、憲法評議会は、特別資金の法的枠組を定めるために国民議会が提出した法案について、不受理を決定。
- 26日、PASTEF党は内務大臣および独立国家選挙委員会に地方選挙プロセスの開始を正式に要請。
- 27日、ファイ大統領はジョップECOWAS新委員長と会談し、共同体通貨「ECO」の導入等について話し合った。

(外政)

二国間・多国間関係

- 6日、ニャン外相とジェム国防相は前回のECOWAS会議で任命されたギニアビサウ仲裁国としてギニアビサウを訪問。
- 7日、ンジャイ・ユースオリンピック組織委員会会長はジャガナ世界銀行西・中部アフリカ担当副総裁と会談。
- 11日、ファイ大統領は、サーリーフ・リベリア共和国元大統領の表敬訪問を受けた。翌日からダカールで開催される「女性のリーダーシップに関するハイレベルフォーラム」について話し合った。
- 10日から13日、セネガル・ギニアビサウ両国軍がジガンシオールで国境安全保障強化のため共同パトロールや連携強化策を協議。
- 20日、セネガル外務省は、セネガル国籍のセイ副検事を含む国際刑事裁判所幹部に米国が課した新たな制裁に深い懸念を表明。
- 27日、サウジアラビアで開催されたイスラム協力機構外相理事会第23回臨時会合にニャン外相が参加。
- 27日、サル前大統領は、アラブ首長国連邦が主催する「世界政府サミット」にパネリストとして参加。
- 27日、ファイ大統領はジョップECOWAS新委員長と会談。
- 29日および30日、ニャン外相はアンゴラで開催のアフリカ連合執行理事会第26回臨時会合及びアフリカ連合総会第21回臨時会合に出席。
- 31日、ニャン外相はナイジェリアにてジョップ元国防大臣のECOWAS委員会委員長就任式を実施。

(経済)

経済一般

- 5日、ファイ大統領はジャガナ世界銀行西・中部アフリカ担当副総裁と会談。世界銀行からセネガルへの3,400億FCFA(約5億1,800万ユーロ)の資金が決定されたほか、今後10年間のパートナーシップ枠組みについて意見交換した。

- 14日、政府はガソリン1リットルあたり70フラン(920フラン→990フラン)、軽油1リットルあたり75フラン(680フラン→755フラン)の値上げを発表。
- 22日、ンブール-ファティック-カオラック高速道路が開通。

(社会)

- 21日、ファイ大統領はティバワンヌを訪れティジャン派のカリフを訪問。

(文化・スポーツ)

- 12日、セネガル宇宙研究機関(ASPA)が一般向けの部分日食観測会を実施。

カーボベルデ

(出典は Balai、Expresso das ilhas、カーボベルデ政府 HP、A Nação、Voz do archipelago、Mindel Insite ほか。)

- 3日及び4日、リマ・アマンテ・ダ・ローザ外務・共同体・国防大臣が国軍関連機関を公式訪問。
- 5日、バルボーザ・ダ・ロンバ・ダ・シルヴァ法務・閣僚会議議長・国民議会・社会通信大臣がセメド新警察庁長官を任命。
- 11日、カーボベルデ政府と中国CMEC社がエネルギー・水・農業・北部地域開発等の戦略的インフラ協力覚書を締結。
- 12日、ネーヴェシュ大統領は1,038億エスクードの国家補正予算の承認法案に署名。
- 14日、カルヴァーリョ首相はヤン中国大使と会談し、戦略分野での協力深化を確認。
- 15日、カルヴァーリョ首相はネト・アンゴラ大使と会談し、CPLPの枠組みでの経済・政治協力強化を協議。
- 17日、カルヴァーリョ首相はワインバーグ米国臨時代理大使と会談し、将来の共同事業や戦略的パートナーシップ強化について意見交換。
- 17日から19日、リマ・アマンテ・ダ・ローザ外務・共同体・国防大臣は東ティモールを訪問。第31回CPLP閣僚理事会定例会合に出席したほか、ラモス=ホルタ東ティモール大統領らとハイレベル会談を実施。
- 25日、カルヴァーリョ首相兼財務大臣はカンポス世界銀行グループ・カーボベルデ常駐代表と会談し、新たな戦略的パートナーシップ枠組みや投資促進フォーラムについて協議。
- 29日、MpDはローザ元法務大臣の大統領選への立候補を支持することを決定。
- 29日及び30日、ネーヴェシュ大統領及びリマ・アマンテ・ダ・ローザ外務・共同体・国防大臣はアンゴラで開催のアフリカ連合執行理事会第26回臨時会合及びアフリカ連合総会第21回臨時会合に出席。

ガンビア

(出典はガンビア政府 HP、The Point、The Standard。)

- 7日、ガンビア外務省代表団はトルコを公式訪問し、トルコ当局と外交・教育・査証・能力開発等の分野で両国関係強化を協議。
- 7日、ニエ外務・国際協力・在外ガンビア人大臣はEU代大使と経済・農業・教育・若者支援分野等での協力拡大や12月5日大統領選に向けた選挙監視団派遣について協議。

- 8日から19日にかけて、バロウ大統領は全国各地で道路・保健・農業関連プロジェクトの起工・視察・竣工行事を実施。
- 14日、12月5日の大統領選挙に向けて、最大野党UDP主導で7政党・政治団体が「ガンビア・ファースト連合（GFC）」を結成。ダルボーUDP党首が代表候補。
- 17日、バロウ大統領はガボン独立66周年記念式典に出席。
- 18日、コミュニティ開発省（DCD）及び農村開発研究所（RDI）は、汎アフリカ開発研究所西アフリカ支部（PAID-WA）と5年間の戦略的パートナーシップ協定を締結。
- 21日、ニエ外務・国際協力・在外ガンビア人大臣はコフィECOWAS地域競争当局長の離任挨拶を受けた。
- 21日、12月5日の大統領選挙に向けて、UNITE党主導により8政党・政治団体が「連合2026」を結成。ベンソウダUNITE党党首が代表候補。
- 29日及び30日、ニエ外務・国際協力・在外ガンビア人大臣はアンゴラで開催のアフリカ連合執行理事会第26回臨時会合及びアフリカ連合総会第21回臨時会合に出席。
- 31日、アルマルシャド・サウジアラビア開発基金（SFD）最高責任者がバロウ大統領を訪問し、イスラム協力機構（OIC）道路プロジェクトの最終段階に関する協定の締結について協議。
- 31日、ゴメス高等教育・研究・科学・技術大臣は、科学を経済成長と国家開発の原動力とすることを目的とした「2027－2035年国家科学・技術・イノベーション政策」及び「2026年STI法案」を承認。

ギニアビサウ

（出典はギニアビサウ外務省 HP、ECOWAS HP、Jeune Afrique、Radio Capital FM、O Democrataほか。）

- 3日、ンタ暫定大統領とンゲマ・ガボン大統領が首都ビサウで非公開会談を行い、二国間協力や地域課題について協議。
- 10日から13日、セネガル・ギニアビサウ両国軍がジガンシオールで国境安全保障強化のため共同パトロールや連携強化策を協議。
- 11日、ンタ暫定大統領は初の外遊でチャドを訪問し、チャド独立65周年記念式典に参加。
- 16日、ンタ暫定大統領はガボン独立66周年記念式典に参加。
- 19日、野党PAIGCや市民社会は8月30日実施予定の憲法改正国民投票への不参加を呼びかけ、現体制による正統性欠如や自由制限を理由にボイコット方針を表明。
- 30日、憲法改正に関する国民投票が行われた。

（注）本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの「報道」を当館限りでまとめたもの。

（了）